

# 中東情勢の緊迫化に伴う 事業影響調査アンケート 報告書

令和8年5月

小田原箱根商工会議所

## 1. 調査の概要

### (1) 目的

中東情勢の悪化により、原油をはじめとするエネルギー価格の高騰や物流の混乱な、地域経済への影響が懸念されている。当所では管内事業者の皆様への影響や実態を把握し、国・自治体への緊急要望や、施策設計などを行うことを目的に調査を実施。

(2) 実施期間 令和8年4月22日（水曜日）から令和8年5月1日（金曜日）

(3) 調査方法 別紙回答票（FAX、Google Form）による回答返信方式  
周知方法：HP掲載、FAX、メールマガジン、LINE

(4) 返送期限 令和8年5月1日（金曜日）

(5) 配布先ならびに先数 ※重複あり

HP掲載：4/22～5/2（11日間）

FAX送信：1,920件

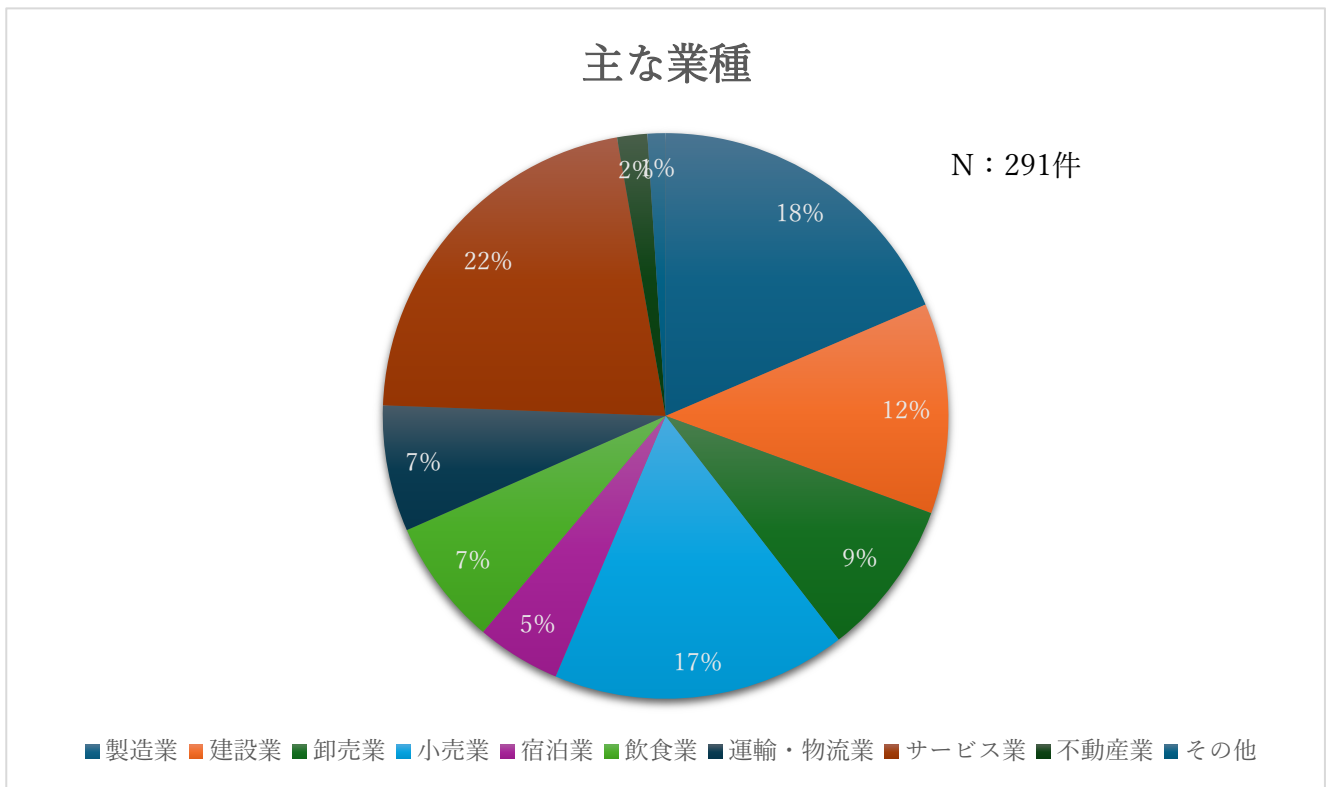
メールマガジン：1,175件

LINE配信：223件

(6) 回答数 291件

(1) 御社の業種に☑をしてください2. 御社の業種に☑をしてください

製造業	建設業	卸売業	小売業	宿泊業	飲食業	運輸・物流業	サービス業	不動産業	その他	総計
54	35	26	49	14	21	21	63	5	3	291
18.6%	12.0%	8.9%	16.8%	4.8%	7.2%	7.2%	21.6%	1.7%	1.0%	100%



(2) 現在の事業活動への影響について、現在の状況に☑してください

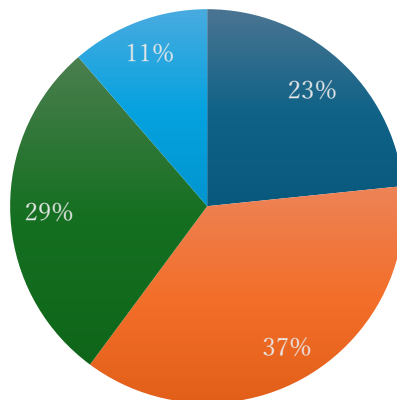
「回答数」

	製造業	建設業	卸売業	小売業	宿泊業	飲食業	運輸・物流業	サービス業	不動産業	その他	総計
すでに大きな影響が出ている	16	12	11	12	2	5	4	5	0	1	68
多少のマイナスの影響が出ている	20	8	9	21	9	8	11	20	1	0	107
現在は影響がないが、今後はマイナスの影響が見込まれる	15	14	5	12	2	3	6	21	3	2	83
影響はない／わからない	3	1	1	4	1	5	0	17	1	0	33
むしろプラスの影響が出ている	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	54	35	26	49	14	21	21	63	5	3	291

「回答割合」

	製造業	建設業	卸売業	小売業	宿泊業	飲食業	運輸・物流業	サービス業	不動産業	その他	総計
すでに大きな影響が出ている	5.5%	4.1%	3.8%	4.1%	0.7%	1.7%	1.4%	1.7%	0.0%	0.3%	23.4%
多少のマイナスの影響が出ている	6.9%	2.7%	3.1%	7.2%	3.1%	2.7%	3.8%	6.9%	0.3%	0.0%	36.8%
現在は影響がないが、今後はマイナスの影響が見込まれる	5.2%	4.8%	1.7%	4.1%	0.7%	1.0%	2.1%	7.2%	1.0%	0.7%	28.5%
影響はない／わからない	1.0%	0.3%	0.3%	1.4%	0.3%	1.7%	0.0%	5.8%	0.3%	0.0%	11.3%
むしろプラスの影響が出ている	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	18.6%	12.0%	8.9%	16.8%	4.8%	7.2%	7.2%	21.6%	1.7%	1.0%	100.0%

事業への影響



- すでに大きなマイナスの影響が出ている
- 多少のマイナスの影響が出ている
- 現在は影響がないが、今後はマイナスの影響が見込まれる
- 影響はない／わからない
- むしろプラスの影響が出ている

(3) 具体的にどのような影響がありましたか？（複数回答可）

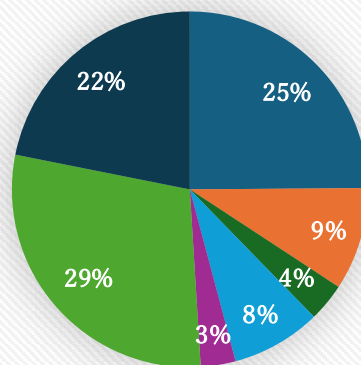
「回答数」

	製造業	建設業	卸売業	小売業	宿泊業	飲食業	運輸・物流業	サービス業	不動産業	その他	総計
原油・ガソリン・電力等のエネルギーコストの高騰	36	16	11	27	9	10	21	32	0	3	165
輸出入の停滞・物流コストの上昇	15	8	7	13	4	4	2	7	1	1	62
インバウンド（外国人観光客）の減少による売上減	1	0	0	2	7	5	3	4	0	1	23
国内の消費マインド低下による売上減	4	2	4	12	4	8	3	15	1	1	54
資金繰りの悪化	2	0	3	3	1	4	1	6	0	1	21
原材料・仕入品・部品の価格高騰	47	31	19	37	10	12	5	26	3	3	193
原材料・部品・商品等の調達難・納期の遅延	39	31	12	20	7	4	8	19	4	1	145

「回答割合」

	製造業	建設業	卸売業	小売業	宿泊業	飲食業	運輸・物流業	サービス業	不動産業	その他	総計
原油・ガソリン・電力等のエネルギーコストの高騰	5.4%	2.4%	1.7%	4.1%	1.4%	1.5%	3.2%	4.8%	0.0%	0.5%	24.9%
輸出入の停滞・物流コストの上昇	2.3%	1.2%	1.1%	2.0%	0.6%	0.6%	0.3%	1.1%	0.2%	0.2%	9.4%
インバウンド（外国人観光客）の減少による売上減	0.2%	0.0%	0.0%	0.3%	1.1%	0.8%	0.5%	0.6%	0.0%	0.2%	3.5%
国内の消費マインド低下による売上減	0.6%	0.3%	0.6%	1.8%	0.6%	1.2%	0.5%	2.3%	0.2%	0.2%	8.1%
資金繰りの悪化	0.3%	0.0%	0.5%	0.5%	0.2%	0.6%	0.2%	0.9%	0.0%	0.2%	3.2%
原材料・仕入品・部品の価格高騰	7.1%	4.7%	2.9%	5.6%	1.5%	1.8%	0.8%	3.9%	0.5%	0.5%	29.1%
原材料・部品・商品等の調達難・納期の遅延	5.9%	4.7%	1.8%	3.0%	1.1%	0.6%	1.2%	2.9%	0.6%	0.2%	21.9%

どのような影響が出ているか



- 原油・ガソリン・電力等のエネルギーコストの高騰
- 輸出入の停滞・物流コストの上昇
- インバウンド（外国人観光客）の減少による売上減
- 国内の消費マインド低下による売上減
- 資金繰りの悪化
- 原材料・仕入品・部品の価格高騰
- 原材料・部品・商品等の調達難・納期の遅延

### (3) — 2 具体的に何が不足していますか？

#### 【製造業】

- ・ 切削油や潤滑油、アルミ材料
- ・ 袋、PP バンド、手袋
- ・ シンナーが不足しています。塗装が遅れ注文があっても商品の用意が遅くなっています。来月までは持ちそうですがその後のシンナーの調達状況によっては休業も視野に入れざるを得ません。
- ・ 用紙、アルコール、機械オイル、梱包用ラップ、ポリ袋、PP バンド／各々納期、納品数未定など現状 5～6月までの確保、先は見えない
- ・ 碎石の機械部品（マンガンなど）の納期が遅延している
- ・ 調達難：シンナー、原油由来の化学製品／納期遅延：シンナー、原油由来の化学製品／価格高騰：シンナー、原油由来の化学製品、ABS樹脂等プラスチック原材料
- ・ フレコン、ストレッチフィルム等の原材料の高騰および納期遅延
- ・ フラックス（洗浄液）、ビニール袋：原材料不足による生産制限あり、入手しにくいものがある／鉛の高騰によるハンダの値上がり
- ・ 機械潤滑油（68番）がどこにもなく、稼働ができなくなる日が近い
- ・ 印刷に使用するインキ、溶剤の価格高騰に加え調達難。4月から高騰し5月中旬以降の調達については不明。
- ・ 包材（主に商品包装用のポリ・ナイロン袋）が手に入りにくくなったうえ、価格の上昇。ニトリル手袋も品薄で在庫が不安。原料の値上げが続き、価格への転嫁が追い付かない状況です。
- ・ 成型品等のプラスチック製品
- ・ 主原料の魚のすり身・包装資材（真空袋・商品の外袋・発泡スチロール・パッキン・ゴミ袋・ビニール袋・ビニール手揚げ袋等）パンフレット（イン不足の為）
- ・ 金属、樹脂材、グリース、オイル等
- ・ インク
- ・ 樹脂材料、シンナーなどの溶剤関連、電線類、電子機器など
- ・ 包装資材の不足が懸念されている
- ・ ビニール袋
- ・ シンナーが入荷困難のため、塗装関係の下請けの納期の遅れが出ている
- ・ 今後見込まれる状況として、部品に使用する接着剤・有機溶剤薄め液等ナフサに関連する材料の影響による調達の動向が懸念される
- ・ 切削油、パーツクリーナー、ゴム手袋、ポリ袋
- ・ すでにニトリル手袋は調達困難、数ヶ月続くと販売に大きく影響する
- ・ ①包装資材：未だ数ヶ月の在庫はあるが、その先の調達の見通しは立っていない
- ・ ②エタノール：未だ在庫はあるが調達できない状況
- ・ ビニール紐
- ・ 使い捨て手袋（ニトリル）、ゴミ袋、プラカップ、お弁当に使用するバラン等、シート類の3か月先の

入荷が厳しい

- ・有機溶剤、梱包資材
- ・軽油、各種オイル（重機、モーター等）
- ・包装資材、PPバンド、クラフトテープ、手袋が欠品する可能性があります。
- ・PVC・PE材料他、輸入品、油類
- ・板金塗装の値上情報が来ている、梱包資材の入手性悪化の情報が来ている
- ・溶剤、潤滑油
- ・ビニール製品の原材料が最大30%値上げの予告あり。資材の奪い合い等の状況が予測される。
- ・さばや鮭など輸入魚が3倍近くになっているが、卸先店舗のメニュー変更の許可が出ず赤字の納品になっている。
- ・使い捨てゴム手袋、薬品
- ・包装用ビニール（選択後製品を包装する）、ディスポ手袋・ディスポおしぼり（商品）→納期未定や不足納品

#### 【建設業】

- ・塩ビ製品 防水材 塗料
- ・ナフサ由来の物
- ・潤滑油が入手できない 樹脂系部品の調達が困難
- ・塩ビ管、ユニットバス
- ・塩ビパイプ、住宅資材
- ・塩ビ製材料（出荷停止）、ACドレンパイプ（セキスイ）
- ・塩ビ管、塗料、接着剤、シンナー
- ・塩ビ管類、塗料材一式、接着剤等一式、ビニール製品
- ・電材・電池モジュール
- ・塗装工事会社に材料が無くて防水工事が延期になった。
- ・塩ビ製品、塗料、アスファルトルーフィング等
- ・建築資材（塗料・住宅設備品・防水資材）入荷の遅延、不足
- ・塗料シンナー、ラッカシンナーを始め錆止めや下塗塗料まで購入ができなくなっており、時期に仕事ができなくなります。
- ・アスファルト合材、溶剤等
- ・ほぼ全ての建材
- ・まだ影響は出ていないが樹脂製品、電線の供給、分電盤の指定色塗装
- ・シンナー、シーリング材の入荷見通しが不明。関連する溶剤型の塗料も遅延や納期の予定不明。水溶性も品薄状態。養生材も値上がり。
- ・塩ビ製品（塩ビ管）が全くない、TOTOユニットバス受注停止、衛生器具の遅延
- ・建設費増加。これからも上がっていく一方で上がったら下がらないといわれている。これからどうなるのか。

- ・ポリフィルム防湿シート、剥離剤
- ・ブルーシート・塩ビ管などの今までは安価で使用頻度の多いプラスチック製品
- ・樹脂系材料が入荷しないと聞いています。
- ・主にナフサを原料としている材料。受注停止の商品も発生している。また、納期未定の材料が多々発生している。
- ・フクビ化学工業 フクフォーム、断熱材の品薄、合板の品薄・価格高騰
- ・住宅資材の高騰、遅延
- ・塩ビ関係部材、ナフサ系部材（ユニットバス他一部製品）の入荷の目途が立たない状況で、各問屋についても在庫切れ状態が続いています。

#### 【卸売業】

- ・樹脂由来製品、シンナー、油由来
- ・化学製品全般
- ・マスク、手袋、注射シリンジ等
- ・資材の高騰と遅れが出てきました
- ・塗料、シンナー
- ・石油原料の包装容器・材料等
- ・プチプチ
- ・発泡スチロール等石油製品
- ・加工品に用いるプラスチック容器やビニール袋、梱包資材は半年分の在庫を確保しているが、今後の情勢によってもっと影響が長引けば、どうなるかわからない。
- ・超硬材の納期遅延

#### 【小売業】

- ・エンジンオイルなど油脂関係の価格高騰、納期遅延。板金塗装で、原材料費が高騰し商品整備のコストアップ。
- ・メーカー、卸等仕入先からは見通しの明確な回答が無い
- ・アスファルトルーフィング、雨どい（塩ビ）、接着剤、テープ類、その他プラスチック製品全般
- ・包材（袋、プラケース等）の調達不可
- ・材料、資材の調達については広く募集を続けるとともに、運搬や貯蔵についてもインフラ企業と提携するなど効率化を進めていくことでコスト削減を目指していく。
- ・材料が輸入品が多い為、関税上昇とともに、中東情勢悪化問題等で年々仕入れ額の高騰等で、利益率が減少している。
- ・メーカーより、機械・器具等海外生産のため入荷の日が難しくなるのでは、とされています。
- ・粘着剤の輸入見込みなし（代理店より）
- ・繊維製品、糸、生地
- ・マグロ

- ・重油、ガス機器、住宅設備機器
- ・ビニール手袋
- ・卸会社に、欠品がではじめています。
- ・輸入コスト増に加え、製造側での原材料の輸送費増加、輸入の納期に影響、円安に加えて影響が大きいです。
- ・塗料、プラスチック製品
- ・化粧品容器 不足
- ・酒類小売ですので、ヨーロッパのワイン等が不足（欠品）となり始めました。
- ・国内の婦人服メーカーの減少、生産枚数の減少、国内生産の布地の減少で良い商品の仕入れが難しくなっていると感じます。
- ・塗装シンナーがいち早く 75%値上げとなったのち、現在はシンナーだけでなく塗料やマスキング用の紙やテープもほぼ入ってこなくなった。新車が出来上がらないので在庫もストップしている。油脂類の供給もほぼ止まり、生産ストップということで入荷も未定。（新車塗装が大きく割合を占めているため）
- ・塗装部門ではシンナーが入荷しないので仕事ができない。その他整備部門でもオイル、グリスが入荷しないので、できない整備がある。大問題です！
- ・オイル等、石油系を材料とするもの
- ・包材（クレソンを入れるプラ袋）

#### 【宿泊業】

- ・石油製品
- ・固形燃料
- ・アルコール製剤が前年実績までの仕入れ量に制限されている。
- ・カエン（固形燃料）の単価上昇、調達難が推測されています
- ・リネンクリーニング代やアメニティ類

#### 【飲食業】

- ・真空調理用ビニール等のビニール製品の調達難、価格高騰／輸入食材の調達難、価格高騰
- ・サラダ油の高騰リスクを取引先から聴いています。
- ・パックが入ってこない
- ・手のグローブ➡かなり不足していて入荷見通しない状態、おしぼり➡不足傾向にある
- ・さらにプラスチック容器などの値上がりを予告されている

#### 【運輸・物流業】

- ・オイル
- ・ラップ ビニール
- ・油脂類、アドブルー、梱包用ラップ

- ・自動車部品 オイル購入の個数制限
- ・在庫が少なくなっている
- ・車両用オイル、燃料、アドブルー等不足／塗料シンナー等の荷動きが減
- ・エンジンオイル、ブレーキオイルなど入荷の遅延が発生してきた。

#### 【サービス業】

- ・印刷にかかる紙代、印刷代の値上げが見込まれる
- ・自動車修理に使用する油脂類全般が調達困難
- ・ゴム製品（特にゴム手袋）の購入規制
- ・プラスチック容器等の資材
- ・シンナー、オイル系不足
- ・エンジンオイル、アドブルー、パーツクリーナー（タイヤも一部サイズで制限が始まっているという話）
- ・塗料、シンナー、オイル類の入荷時期未定
- ・ゴルフボール
- ・プラスチック袋、手袋などの石油原料製品
- ・バスタブ 浴場消耗品 接着剤
- ・イスラエルから日本への国際航空便が全面運休らしく、訪日できないため事前オンライン予約で購入した入館チケットの払い戻し依頼あり。イスラエル人の訪日が激減している。
- ・管理マンションのユニットバス交換で、業者がユニットバスの調達ができず工事完了見込みが立たない。
- ・支援先企業において燃料費・電力費の上昇の影響に関する相談が増えているほか、設備更新に関連する機器や部材の価格上昇や納期長期化の影響についても声が出ています。  
直近の事例では、ある工務店よりトイレ・浴室設備など住宅設備機器の入荷遅延により工事完了が難しいケースがあり、機器確保のため現金支払いを求められるなど資金繰り面への影響が出ているとの話もありました。”
- ・ポリ袋等在庫確保が厳しいとのこと
- ・ボウリングのレーン用オイル、ニトリル手袋、料理提供時の固形燃料
- ・カーゴテナー・ストレッチフィルムはメーカーよりストップ。結束紐・アドブルー・重油が入りづらい状況。
- ・清掃ワックス
- ・シンナーに代表する石油由来の製品が入手しづらい（または入手できない）
- ・ニトリルゴム手袋
- ・PC周辺機器の半導体不足による製品不足

#### 【不動産業】

- ・塗装やリフォームの費用が上がり、納期が遅延している

- ・ 建築資材、造成資材等
- ・ ユニットバス、キッチン等の設備が納期未定との回答が出始めており、リフォームなどに影響が出始めている。

(4) 現在、自社で取り組んでいる、または検討している対策はありますか(複数回答可)

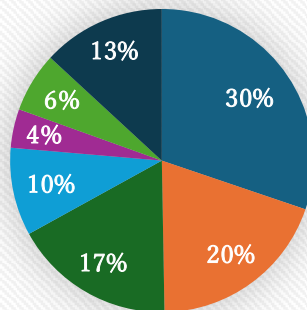
「回答数」

	製造業	建設業	卸売業	小売業	宿泊業	飲食業	運輸・物流業	サービス業	不動産業	その他	総計
販売価格への転嫁・値上げ	36	24	19	33	8	10	10	20	1	0	161
経費削減(省エネ対策の徹底など)	27	7	8	17	8	8	13	15	0	1	104
仕入れ先・調達ルートの変更・多角化	22	13	9	19	4	6	6	12	0	1	92
新規顧客・新規市場(国内客など)の開拓	7	1	7	8	2	4	3	17	0	1	50
金融機関への融資相談・借入	2	4	5	3	1	1	1	5	0	0	22
人件費の抑制・人員配置の継続的な見直し	6	2	3	6	4	2	7	4	0	0	34
特に対策はしていない・打つ手がない	10	8	5	8	2	8	2	21	5	1	70

「回答割合」

	製造業	建設業	卸売業	小売業	宿泊業	飲食業	運輸・物流業	サービス業	不動産業	その他	総計
販売価格への転嫁・値上げ	6.8%	4.5%	3.6%	6.2%	1.5%	1.9%	1.9%	3.8%	0.2%	0.0%	30.2%
経費削減(省エネ対策の徹底など)	5.1%	1.3%	1.5%	3.2%	1.5%	1.5%	2.4%	2.8%	0.0%	0.2%	19.5%
仕入れ先・調達ルートの変更・多角化	4.1%	2.4%	1.7%	3.6%	0.8%	1.1%	1.1%	2.3%	0.0%	0.2%	17.3%
新規顧客・新規市場(国内客など)の開拓	1.3%	0.2%	1.3%	1.5%	0.4%	0.8%	0.6%	3.2%	0.0%	0.2%	9.4%
金融機関への融資相談・借入	0.4%	0.8%	0.9%	0.6%	0.2%	0.2%	0.2%	0.9%	0.0%	0.0%	4.1%
人件費の抑制・人員配置の継続的な見直し	1.1%	0.4%	0.6%	1.1%	0.8%	0.4%	1.3%	0.8%	0.0%	0.0%	6.4%
特に対策はしていない・打つ手がない	1.9%	1.5%	0.9%	1.5%	0.4%	1.5%	0.4%	3.9%	0.9%	0.2%	13.1%

## 自社で取り組んでいる、 検討している対策はありますか？



- 販売価格への転嫁・値上げ
- 仕入先・調達ルートの変更・多角化
- 金融機関への融資相談・借入
- 特に対策はしていない・打つ手がない
- 経費削減（省エネ対策の徹底など）
- 新規顧客・新規市場（国内客など）の開拓
- 人件費の抑制・人員配置の継続的な見直し

(5) 国・自治体、及び小田原箱根商工会議所に求める支援は何ですか？（複数回答可）

資金繰り支援（無利子・無担保融資の再開、返済猶予など）	86
固定費負担軽減への直接的な補助（電気・ガス・ガソリン代の補助金拡充）	164
省エネ設備・再エネ設備導入に対する補助金の拡充	59
新事業展開・業態転換への補助金・サポート	45
中東情勢やサプライチェーン・経済動向に関するタイムリーな情報提供	92
価格転嫁に関する相談窓口や取引先との交渉サポート	34
未回答	19